

阿南ぶらりまち紀行 ～地域の輝き～

ふるさと「阿南市」のすばらしい魅力を再発見!

第93回



えーびーおーろくじゅう
野球のまち阿南チアガール ABO 60

今年1月、野球のまち阿南にチアガールが誕生した。その名も、「ABO 60」。阿南の「A」、ベースボールの「B」、おぼちゃんの「O」に、60歳以上の「60」の文字を組み合わせた。野球の試合で訪れる県外からの選手を阿南流のおもてなしで歓迎しようと、試合を盛り上げる応援ダンスやかけ声の練習を始めた。

熱心な野球ファンというわけではない。ましてや応援団を結成するのも初めての経験。そのため一度決めてもやり直しになることが多く、たぐさんの試行錯誤を重ねた。リーダーの都崎文恵さん(61歳・柳島町)は、言葉に力を込める。「試合で心のこもった応援をもらえることは、阿南へ来て良かったという気持ちにならざると思うんです。せつかなら、ひとりでも多く阿南を好きになつてもらい、『もう一度来たい』と感じてほしい。大変なこともあるけれど、選手の方々の笑顔の思い浮かべながら頑張っています」

ぎこちなかったダンスも、練習を続けるうち上達。還暦の赤が目立つ手作りの衣装は、地域活性化のため材料も市内で買った。メンバーも35人に増え、少しずつ、デビューに向け準備を整えていった。迎えた4月19日。西日本生涯還暦野球大会の会場では、ABO 60のダンスと大きな声援が観客席に華やかさを添えた。打席へ向かう選手の名前を連呼してエールを送れば、グラウンドから笑顔がかえってくる。「頑張つてな」「よっしゃ、頑張るわ」。得点が入るとダンスで祝福。出会ったばかりの選手とチアガールの間で、いつのまにか心が通いあっていた。

今まで野球のまち阿南の取組に関わる機会が少なかった女性たちが編み出したのは、「応援」という新しい形。ABO 60がさきがけとなることで、これからもっと多くの方と一緒に野球のまち阿南を盛り上げていけたら…。おぼちゃんたちが思い描く未来の構想が叶う日は、きっとそう遠くはないはずだ。

